

広島県中小企業団体中央会 2022年9月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

9月の出荷量は前月比0.8%増加、前年同月比9%増加。売上高は前月比▲1.7%、前年同月比▲12.3%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

原材料をはじめ諸経費が値上がりして収益を圧迫している。人流の規制が緩和され、人の動きが増えてきたため、消費が徐々に増加することを期待している。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

9月度は販売量が予想を下回り、在庫が増加したことで、業界の景況感は悪化しているが、10月以降は販売量が増えていくと予想。しかし、依然としてコストアップによる収益性の悪化が深刻な問題となっている。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

- 令和4年8月の全国新設住宅着工戸数は77,712戸で前年同月比+4.6%、季節調整済年率換算値では903千戸(前月比+9.4%)となった。
- 利用関係別では、持家は22,291戸で前年同月比▲11.2%、貸家は31,295戸で+8.9%、分譲住宅は23,172戸で+16.2%、また木造住宅は42,923戸で対前年同月比▲3.7%であった。
- 住宅着工動向は全体では前年同月比は4カ月ぶりの増加となったが持家は9カ月連続で対前年同月比減の低水準が継続している。また、木造住宅は木材価格に落ち着き見え始めたが、対前年同月比は4月以降減少に転じており、今後の動向を引き続き注視していく必要がある。

【広島県】

- 令和4年8月の着工戸数は1,557戸で、対前年同月比▲0.2%、うち持家は413戸で▲18.2%、貸家は693戸で+19.9%、分譲は450戸で▲5.7%であり、県全体の住宅着工動向前年同月比は5カ月ぶりの減少となった。
- 着工戸数全体の前年比では国の動向と逆となったが、持家の減少は同様で、貸家や分譲が下支えする中、分譲のマンションが県内では4カ月連続対前年比プラスから減少に転じたことが全体に影響したと考えられる。市町別でみると着工戸数は都市部中心の伸びとなっているが、持家は都市部も含めほぼ全域で減少している。
- 原木丸太の価格低下動向、建築資材や住宅設備の品薄や高騰を見つつ、取扱う物件の種類、木材製品の在庫状況等で、事業者ごとの事情により状況はばらついていると思われる。円安の進行、燃料費高騰による運賃や電気代の高止まりなどは続いており、周辺環境の悪化が懸念され、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。

福山木材協同組合

秋の季節に入り、売上等も向上すると思われたが、昨年と比較しても悪化しており、厳しい状況が続いている。

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

業界の景況感はやや悪いが、2年半ぶりに名古屋にて全印工連フォーラムがリアルにて開催されるなど、徐々に活気が戻りつつある。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

受注量が徐々に増加してきた。電気代高騰の影響によりコストが上昇しているが、価格転嫁は困難である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- 原材料価格等の高騰が予想以上であり、値上げ分を製品単価へ転嫁することが難しく、事業採算を大きく圧迫している。
- 自動車関連は、回復傾向が見られるが、不透明感が強い。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- 出荷状況

令和4年9月 2.675 m³ (対前年比 98.6%)

令和4年8月 2,487 m³
令和3年9月 2,714 m³
・令和4年度想定数量
780,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●金属製品

広島金属工業協同組合

- ・コベルコ建機が主要取引先である会社の多くは、ここ数年フル操業が続いている(前年比更に増の生産計画が続いている)。
- ・コベルコ建機が日野自動車より仕入れているエンジンの排気ガス認定事件は一応の決着を見せ、本格生産再開の目途が立った。
- ・電子部品、樹脂成型品の入荷も回復し、安定的なライン生産に移行できるようになった。出荷量も回復し完成期在庫も減ってきた。
- ・世界的な金融引き締めや、超円安などがあり景気後退のリスクがあるかもしれない。

●鉄鋼業

鋼鉄協同組合連合会

経済活動の制限が緩和されたことにより、9月の景況感は若干好転している様に感じるが、今後の感染拡大の状況次第で再び悪化する可能性がある。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

中間決算期を迎え売り上げ計上が増加したことにより、売上は前月比35%増加、前年同月比30%増加となった。様々なリスク要因があるものも、受注量は高い水準を維持している。また、上海市のロックダウン解除により生産量が回復傾向にあり、設備投資もデジタル化や環境対応等で増加見込み。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

新規受注はやや鈍化しているものの、増加していた受注残が売上に反映されてきたため、売上は前月比20%増加、前年同月比35%増加となった。依然として部材の調達難や価格の高騰は継続しているが、設備の納期遅れは若干改善されてきた。また、製造装置分野では、半導体需要の減速が要因となり、中国向けの電子部品の輸出が減少している

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

生産は中国のロックダウンや半導体の供給問題の収束によって改善されつつある。9月は台風の影響により稼働が停止した影響はあるが、残業対応等で取り戻しつつある。

【9月度 自動車 国内販売動向】

全需は395千台、前年同月比+24.1%と15ヶ月振りに好転(登録車は+17.8%と13ヶ月振りに好転、軽自動車は+35.6%と1ヶ月振りに好転)。マツダ車は53.7%増と4ヶ月連続で増加し、内訳としては、登録車+60.5%(13.2千台)、軽自動車+26.8%(2.6千台)となっている。

【8月度 自動車 海外販売動向】

- ・アメリカの全需は1,149千台で、前年同月比+4.9%と13ヶ月振りに好転。マツダは▲6.7%と、前年同月を5ヶ月連続で下回る結果となった。
- ・欧州の全需は828千台で、前年同月比▲5.0%と14ヶ月連続で前年を下回る。マツダは▲26.4%と前年同月を7ヶ月連続で下回った。
- ・中国の全需は1,960千台で、前年同月比+9.0%とまた3ヶ月連続で増加。マツダは同 ▲36.3%と17ヶ月連続で前年割れとなった。
- ・引き続きコロナ影響で、マツダの7月の海外販売は、殆どの地域でマイナス。合計台数は79.3千台、前年同月比▲4.7% 13ヶ月連続で前年比減となった。

【8月度 輸出・国内生産動向】

マツダの輸出台数は、前年比+17.7%と2ヶ月連続で増加。国内生産台数は、前年同月比+14.9%と2ヶ月連続で回復基調にある。

八本松工業団地協同組合

円安、物価高騰により、収益性が悪化している。

●輸送用機械器具(造船)

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和4年8月の船舶建造許可実績は5隻、111,340総トンであった。(前月1隻24,000総トン。前年同月4隻、87,050総トン。)なお、内訳は輸出船が5隻で、貨物船が4隻、油槽船が1隻であった。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

コロナ影響等から業容縮小による合理化・コスト削減の動きが見られる一方で、よろず支援拠点の活用等の公的支援を受けて、卸売業における製造機能付加に係わる取り組みや、商圏の拡大などの市場開拓を図るといった効果的な事例も見られる。

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

10月度より、資材の値上が実施される。4月に実施された値上から再度値上げされるとのことで、来年4月にも第3弾の値上の話で出てきている状況。

●卸売業(畳・敷物)

広島県畳製品商業協同組合

- ・びんご畳表では、9月はの売上は前年同月比31%と大幅減少。
- ・JAS畳表は、前年同月比95.8%と減少。
- ・円安の影響により、中国産の輸入が減少、在庫での販売を継続。10月には、国産中国産とも年末に向け、製織も増える見込み。

●卸売業(家具)

リビズ株式会社

コストアップにより、商品の値上げを実施している。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・9月度中央市場水産部の取扱高は、前月から引き続き、コロナ第7波の影響の継続並びに2度の台風通過により鮮魚の入荷状況が低調だった事もあり、前年実績を若干下回った。
- ・9月度中央市場青果の取扱高は、コロナ第7波の影響により消費動向が鈍るなか前年実績を上回ったが、2度の台風通過から生じた相場高による一時的なものである。
- ・食料品小売・飲食などの中小零細事業者はコロナ第7波の影響を受け、売上が回復しない中、買い控えなどの節約志向、ネット通販や生鮮食品を取扱うドラッグストアの増加などにより、売上が前年実績に満たない状況が続くと想定される。
- ・食料品小売の中小零細事業者は、仕入コスト高・経費増を売価に転嫁でき無いたことが要因となり、収益力低下により要請されている賃金アップに応えられず、慢性的な人手不足、補助金の打ち切り、コロナ対策資金の返済が重なり、事業継続に苦心している事業者も出てきている。

協同組合三次ショッピングセンター

- ・電気料金の値上がが続く中、非常照明、避難誘導灯全てのLED化工事を行い電気料金は前年比21%削減できた。
- ・物価上昇傾向だが大きく影響を受ける業種はなく現時点では仕入れや販売価格の変更はない。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和4年9月度販売実績 113%(前年同月比)AV商品111%、白物商品121%、薄型テレビ99%(内有機EL173%)、DVD83%、冷蔵庫114%、洗濯機114%、IHクッキングヒーター115%、エコキュート114%、エアコン136%、炊飯器141%、電子レンジ140%、掃除機145%。依然慢性的品不足は続いているが、品不足による営業活動が定着しつつある。

●その他の小売業(燃料)

広島県石油商業組合

燃料油価格激変緩和対策事業により、40円/ℓ近く仕入れコストが軽減されたものも、依然として高コストのままである。仕入価格上昇分を販売価格に転嫁したいが、現実には難しい。

(商店街)

●商店街(各種商品小売業)

呉本通商店街振興組合

- ・呉市において新型コロナ感染者が急増しているが、飲食店組合などの民間が主催する各種イベントは、十分な感染対策を行った上で、当社の計画どおり10月中に実施される予定である。
- ・呉本通商店街のアーケード支柱の塗装工事について、第2工区(24本)の作業が盆明けから開始され、9月5日に完了した。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比20.6%増加、前年同月比1%増加
- ・車検場収入は、前月比20%増加、前年同月比0.9%増加
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比9.2%増加、前年同月比9.3%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

本来、閑散時期が過ぎ、稼働し始める時期のはずだが、稼働していない。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

電子部品の入手難および円安の影響がしばらく継続する見込み。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

新築物件の減少が要因となり、カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計では9月は前月比41.1%増加、前年同月比▲9.8%。前年累計比▲1.2%となり、一昨年の累計比では▲37.8%、3年前の累計比では▲32.9%であった。新築件数が少なく、今年度は低調な状況が続く可能性が高い。

福山地区電気工事業協同組合

- ・9月分の受注件数は、368件（前年同月比104%）となったが、2022年度上期累計では、2002件（97%）であった。
- ・コロナやウクライナ情勢等の影響によって物流が停滞しており、部材の入荷が遅れるなどの問題が生じている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・8月の売上高は前月比、前年同月比共に増加。
- ・中国上海市のロックダウンの解除によって、海上運送の混乱はやや収束に向かい、コンテナ貨物の輸送は好調であった。
- ・軽油価格は、サウジアラビア産原油の調整金大幅に上がったため、値上げとなった。

松永地区トラック事業協同組合

9月は連休が多いが、対前年同月、対前月ともに売上高では大きな変化は無い。燃料価格は、依然として高止まりが続いているため、走れば走るだけ赤字となり、収益状況はますます悪化。この窮地を乗り切るために原価計算を行い、運賃値上げを要請しているが、荷主に全く取り合ってもらえていない。一方で、燃料サーチャージ制の導入を考えている事業者もあるが、導入するための手続きや導入後の荷主交渉などを考えると、簡単に導入に踏み切れない。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

9月の景況感は、やや悪化傾向にある。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足の状態が続いており、若年船員が育っていない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比は、8月の仕事はずれ込んで9月分の売上高等は増加した分、収益も好転している。前年同月比は、特に変化なし。
- ・今月から来年3月頃まで国土交通省の地価公示作業、相続税の路線価標準宅地評価作業、市町の3年毎の固定資産税標準宅地評価業務が始まるので、当面一般評価作業と併せて忙しくなる。
- ・不動産市場については、事業所用地・建売建築素地不足による業者の土地仕入価格の上昇が続いている。又、建設業者、建売業者、リフォーム業者等は依然として建築資材の納品遅延により、完成工事の遅れが出ている。マンション販売については、新築販売がやや鈍化している。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している。